



三原市長
五藤 康之

新年明けましておめでとございます。新三原市が誕生して初めての正月、市民の皆様には、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。合併により、新三原市が誕生してから、9か月が過ぎました。この間、新市建設計画に基づき、市民福祉の向上を図り、それぞれの地域が有する特性・資源を活かした均衡ある発展をめざし、諸施策を実行しております。とりわけ、人・物・文化の交流を深める場をつくり、一体感の醸成に努めて参りました。

本年も引き続き、新市建設計画を基本にして、誰もが健康で安心・安全に暮らせる活力あるまちづくりに取り組んで参ります。

重点施策としては、生活の安心・安全の確保、少子高齢社会における保健・福祉施策の充実、幹線交通網や下水道などの都市基盤整備、農林水産業の振興、学校教育・社会教育の充実、観光・文化の振興、情報通信基盤の整備、環境保全と循環型社会の構築などを着実に推進して参ります。

本年は、合併後の市政をふり返り、実施した事業の内容・効果などの検討や、寄せられましたご意見、ご要望を参考にさせていただき、「合併してよかった」「三原市に住んでよかった」と、実感していただけるまちづくりの正念場の一年になると考えております。

これからも、市民の目線に立って、地域の自主性を活かした個性豊かな活力あるまちづくりに、全力で取り組んで参りますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。市民の皆さまのご健勝を祈念し、新年のごあいさついたします。

新年のごあいさつ



三原市議会議長
守岡辰巳

新年明けましておめでとうございます。平成18年の初春を迎え、市民の皆様にも、心からお慶びを申し上げます。

昨年は、合併の初年度であり、機構変更や記念行事など、慌ただしく変化に富んだ一年でありました。

新年からは、新市建設計画を着実に推進するため、地域のバランスを考慮しながら、合併時に約束された多くの問題解決に取り組まなければならないと思っております。

現在わが国は、少子化と高齢化が進み、地方都市は、活力が低下しておりますが、これらの問題解決には、大分県日出町に見られるように、自治体と住民の協働によるまちづくりが強く求められております。幸いなことに国の経済は、景気回復に明るい展望が見え始めたようで、地方経済も業種間に差はあるものの、着実な回復の足音が伝わっており、大いに期待しているところであります。三原市においても、地の利を活かして、中・四国の主要空港である広島空港によって生み出される交通・物流の拠点機能を活用した、新たな産業の創出・育成が期待されており、行政サイドとしてもしっかりとした後押しが必要と感じております。また地域間の円滑な交流促進と地域コミュニティの再生に留意し、住民福祉の視点に立った、安心して生活できる交通体系を編成しなければならぬと考えております。

三原市議会は、これからも皆様と共に、元気で快適なまちづくりを進めてまいりますので、一層のご支援をお願いいたしますと共に、皆様が今年一年、健康で幸せを実感できる年となりますようご祈念申し上げます。